

BFH(Baby Friendly Hospital)
赤ちゃんにやさしい病院

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長 天沼 史孝

インフルエンザについて

予防接種について

☆妊娠中でも大丈夫？

→妊娠週数に関係なく接種できます

☆赤ちゃんへの影響は？

→ワクチンによる先天代謝異常や胎児の奇形児リスク、流産のリスクなどの影響はないと報告されています

☆赤ちゃんへのメリットは？

→ママの体にできた抗体は胎盤を通過して胎児にも移行することがわかっています。ママから抗体をもらっておくと心強いですね

インフルエンザにかかったら

★母乳を介して赤ちゃんが感染することはありません。

インフルエンザにかかっても授乳をやめる必要はありません。

内服について

★抗インフルエンザ薬のほとんどが、母乳移行が非常に少ない、もしくはほとんどありません。

判断に迷いましたら、是非、
医師・薬剤師に相談してください！

第20回「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」施設連絡会議

11月3日、東京都立貿易センターで開催されました

参加施設は66施設、小児科医師、産科医師、助産師、看護師が出席し皆さんの母乳への気持ちは同じで、活発な意見がでて、とても有意義な時間となりました。

時は流れ、時代は変わり、母乳育児支援に取り組む人たちも変わりつつありますが、**母乳育児は自然の営みであり、命の大切さ、母親のありがたさ、子供の大切さを肌と肌で確認できる素晴らしい時間！**だと再確認しました。現代は知りたい情報はすぐ入り、逆に情報過多になりすぎ、混乱している方もいます。医療従事者は今こそ正しい情報を個々に応じて発信していく必要があります。

♡ 赤ちゃんを大切に思う母の気持ちは、昔も今も変わりありません

